

2024年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時：2024年11月23日（土）19：00～21：00
2. 開催場所：松山市民会館 & Zoom
3. 出席者
理事：青木究 宇都宮卓治 岡田未奈 小野達也 清水俊行 久枝正実 野村祐介 宮崎昌彦
山田文哉 山本良輔
監事：田邊芳郎 渡部優作
委員：楠本雄一郎（選挙管理委員長） 永渕克弥（災害対策委員長）
欠席者：成高有哉
4. 議事
 - 1) 開会の挨拶
宮崎会長より理事会開催の挨拶があった。
 - 2) 書記の選出
宮崎会長より野村事務局長が書記に選出された。
 - 3) 各委員会報告

呼吸療法委員会
12月1日（日）に呼吸療法セミナーを開催予定。メールマガジンで積極的な声かけを実施中。

血液浄化
JTB主催のビデオセミナーが11月24日（日）開催、31名が参加予定。
今後のセミナー開催予定としては2025年1月26日（日）県立中央病院で開催計画中。

災害対策委員会
今年度の災害対策委員会を12月19日に開催予定で参加費は無料。セミナー後には情報交換会も行う。
- 4) 第8期一般社団法人愛媛県臨床工学技士会役員選挙について
楠本選挙管理委員長より、第8期（一社）愛媛県臨床工学技士会役員選挙の日程について説明があった。（資料1）
- 5) 第14回中四国臨床工学会の開催報告
2024年9月21日・22日に「アイテム愛媛」で開催。総参加者数は1073名（内訳：会員455名、非会員117名、学生63名、招待者4名、スタッフ125名、企業参加者145名、キッズセミナー参加者164名）
一般演題は応募が157題（1件取り下げ）。協賛企業100社。懇親会には181名が参加。
会計処理はほぼ終了し、収支の取りまとめが進行中。最終報告は整理が完了次第、監査報告予定。
- 6) 中四国臨床工学技士会連絡協議会の報告
 - ① 組織委員会
 - ・ 告示研修の受講率向上の取り組み
現在、告示研修の受講率が低い地域として、徳島県と高知県が挙げられた。
透析施設が多い地域であるが研修を受講しない施設が多いため、受講率を上げるための調査やアンケートを実施する事となった。アンケートは、中四国9県の透析施設の会員を対象に実施する。
 - ・ SNS利用について
FacebookやInstagramはイベント告知には使われているが、情報性の高い発信が難しいという課題がある。SNSの運用ルールの策定し、SNSを活用していくことが今後の課題として挙げられた。
 - ② 学術委員会
 - ・ 第14中四国臨床工学会の振り返り
学術委員会企画のセミナーでは空席が目立った。またスケジュールがタイトで一般演題の議論時間が不足していたことが反省点として挙げられた。
 - ・ 学術委員会の規約作成
学術委員会の規約を整備するための計画があり、各都道府県の技士会と連携して進める方向が示

された。しかし、この作業は一部頓挫したため、今後再度取り組むことが決定された。

- ・ ホームページ運用の課題
学術委員会が管理するホームページの運用が適切に行われていないという問題が指摘された。今後、より効率的に運用するための改善案が求める意見があった。
- ・ 学生 BPA について
学生 BPA に関して、学生と院生の違いを考慮した今後の運営が必要だという意見が出され、改善策を検討する必要がある。

③ 若手委員会

- ・ 中四国臨床工学会の若手企画報告
若手委員会が中心となって実施した企画に約 50 名が参加。座長や登壇者も交えて良い雰囲気を実施された。企画開催に伴い、コーヒーやドーナツを提供。日臨工（日本臨床工学会）人材活性化委員会のブロック活動予算を活用。
- ・ 交流会事業の課題
交流会の参加費や交通費、食材費などの支援が参加促進に役立つとの意見。支援以外のメリットを明確にする必要があると指摘された。
- ・ セミナー事業に関する課題
参加者数が減少傾向にあるセミナー事業が課題として挙げられた。特に有料セミナーでは集客が難しく、参加の付加価値（珍しい体験や直接的なスキル向上）が重要とされた。成功事例を共有し、今後のセミナー改善につなげる。

④ 事務局会

- ・ 第 14 回中四国臨床工学会の開催報告
愛媛大会におけるポイント申請について意見交換があった。
- ・ 次回大会について
第 15 回中四国臨床工学会 2025 年 9 月 6 日に広島国際会議場で開催予定。
懇親会はメルパルク広島で実施予定。一般演題の募集を 2024 年 4 月 1 日から開始。
現在協賛企業へ趣意書を配布し、活動が開始されている。
第 16 回大会は高知県で開催が予定されており、現在会場の選定や日程調整が進行中。
- ・ 事務局間の議論事項
各県の規定（休会規定や慶弔規定）について意見交換を実施。
会員管理や事務局業務の効率化に向けた提案がなされた。

⑤ 災害対策委員会

- ・ 災害時の情報連絡体制に関する課題
現在、災害時の連絡方法が複数のシステムにまたがっており（例：LINE WORKS、E-mail、他ツール）、統一が課題。災害時の連絡先を迅速に把握・対応できる仕組みが必要。
- ・ 委員間の情報共有強化
委員間の連絡を円滑にするため、LINE グループを新設。緊急時の情報伝達においてもメールと併用するなど柔軟な対応を検討。

7) 2024 年度愛媛県施設代表者会議の開催について

開催候補日について議論を行った結果、2月25日（火）、2月27日（木）、3月4日（火）、3月6日（木）平日開催が望ましいとの意見が多く（土曜日や日曜日の開催も検討されたが、他のイベントや業務と重なる可能性を懸念）、特に火曜や木曜が良いとされた。時間帯については、夜間の方が適していると提案があった。最終的に、3月6日（木）を選択する方向で満場一致した。会議はオンライン形式（ウェブ会議）で開催予定。

8) 代表者メーリングリストの登録ページの整備について

宮崎会長より現状、施設代表者がメーリングリストに登録する際の手続きが不明確であり、更新や登録が滞る可能性が指摘された。協議の結果、ホームページ上に登録ページを作成し、施設代表者が直接登録できるようにし、入力情報は事務局が精査し、リストへ追加する。広報委員会で登録ページのプロトタイプ

を作成し、理事会メンバーで確認後に公開予定。

9) スクラブの管理方法について

作成したスクラブの管理（管理場所、貸出、返却）方法の取り決めについて検討した。管理方法は以下のとおりとする。

- ・ 管理場所
スクラブは「四国がんセンター」で保管する。
- ・ 貸出と返却の手続き
貸出時は時間的に余裕を持って（最低1週間前まで）に、必要な枚数を清水副会長に連絡する。使用後はクリーニングを行い、「四国がんセンター」へ返却する。
- ・ クリーニング費用および送料について
発生する費用は都度事務局へ報告する。

10) 年会費徴収の外部委託について

野村事務局長より年会費徴収システムである「会費ペイ」のシステム準備が整った旨報告があった。添付（資料2）の内容を全会員に向けて郵送し2025年3月末までに全会員が登録完了できるよう進めていく。

11) HPへの施設リンク掲載について（継続議案）

小野理事より添付（資料3）のとおり依頼文の叩き台を作成した旨説明があった。依頼文全体の校閲と適切な宛名について議論を行った。議論の結果、施設に依頼する際、宛名は「病院長」と「臨床工学部門長」の2つを用意する案がよいとの意見が出され、本家で郵送の準備を行う方針とした。

12) その他

(1) 業務実態報告2024の回収率報告

宮崎会長より愛媛県の回答率は77%であったと報告があった。回答率の高い県は、組織的な活動が行われている。今後県内においても組織力強化が必要である。

(2) 宮崎会長の講演依頼および式典へ出席予定日

- ① 四国医療技術専門学校特別講演（12月16日）
- ② 徳島県臨床工学技士会セミナー（テーマ：告示研修）の講演（3月7日）
- ③ （公社）愛媛県診療放射線技師会創立70周年式典への出席（2月1日）

(3) 愛媛県臨床工学会の学会長の選任について

宮崎会長より学会長の公募については、会の運営に関わる事案であり、再検討が必要ある旨説明があった。今年度、学術準備委員会が検討を進めていたが、公募に関するルールを明確に設定した上で検討を行なう。

13) 事務局報告

野村事務局長より新入会員3名について満場一致で承認された。退会1名。

14) 第4回理事会の日程調整・・・後日調整

5. 議事録確認

出席理事

宮崎昌彦	清水俊行	岡田未奈	野村祐介	青木亮	宇都宮卓治
小野達也	久枝正実	山田文哉	山本良輔		

出席監事

田邊芳郎	渡部優作
------	------

6. 閉会挨拶

清水副会長より閉会の挨拶があった。